



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R4 CS通信No.6 R4.7.5



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

白八幡宮大祭学習会(西海小)・運動会(鯨ヶ沢中)・相撲礼法の学習(舞戸小)

6月13日(月)、西海小学校で、1・2年生が、ふるさと学習の一環として白八幡宮大祭について学びました。

始めに町総括学芸員の中田書矢氏から、白八幡宮大祭は、345年前からのお祭りであること、北前船で京都の祭りが伝わってきたこと、津軽の京祭りと言われていること、鯨ヶ沢町内に10の山車があることを学びました。

次に、児童全員が、4人ずつに分かれて、鉦叩きを体験しました。講師は役場職員の先生方です。

子どもたちは、笛や太鼓に合わせて、鉦を叩き、お祭りの体験をすることができました。

子どもたちの感想として、「鉦を叩くのは難しかったけど楽しくて良かった。」「鉦を叩くのは緊張する。」という話がありました。

この白八幡宮大祭の鉦叩き体験については、6月10日(金)舞戸小学校でも行われました。



6月25日(土)の鯨ヶ沢中学校の運動会は、前日の大雨の影響で、トラックが滑りやすく、大半は、フィールドを使って競技が行われました。

開会式では、相馬校長先生から、「運動会を実施するにあたり、教育委員会、PTA、教職員が朝早くからグラウンド整備を行いました。皆さんの期待に応え、精一杯頑張ってください。」と激励の言葉がありました。代表生徒からは、「練習の成果を発揮し、楽しくけがのないように頑張ってください。3年生は、最後の運動会です。最高の運動会にし

ましよう。」という呼びかけがありました。

感心したのは、競技に挑む生徒一人一人の紹介に対して、すべての生徒が大きな声で反応していたことでした。また、生徒全員が力を抜くことなく、全力で駆け抜けていて、頼もしく、りっぱな生徒たちだと思いました。



舞戸小学校では、7月15日(金)の校内相撲大会に備え、集会の時間を使って、低中高の学年ブロックごとに相撲礼法の学習を行いました。

はじめに、そんきょの仕方や立ち合いの構えについて、講師から説明を受け、全員で練習をしました。(講師は、社会教育推進 DC 藤田です。)

次に、代表児童による模範演技が行われ、はじめと終わりの礼の仕方や勝ち名乗りの受け方について模範演技を見て覚えしました。

礼法の学習後、子どもたちは、相撲を取りたくてたまらないようで、玄関ホールの相撲マット前には、長い列ができていました。

